

みなさまの保険情報

INSURANCE INFORMATION

TOPIC

自動運転車の今後の見通し

～2025年には完全自動運転車が公道を走る?!～

人が運転操作しなくても車が目的地まで自動で運転してくれる、いわゆる「自動運転車」が注目されています。自動車メーカーはもちろん、自動車製造に関わっていない企業の参入や、政府と民間企業が共同開発を始めるといった動きもみられたりするなど、その状況は日に日に進んでおり注目です。



目的地まで車が連れて行ってくれる時代に!

特定の運転機能で自動化は進んでいますが…

自動運転車のCMや話題を見聞きすると、すでにすべての運転を車が自動でやってくれる時代に突入していると思っている人がいるかもしれません。実はひとりで自動運転車といっても、車がどの程度まで自動で運転してくれるかによって自動運転レベルは段階的に分かれています。

一部の自動車メーカーでは、車線並走や駐車など特定の運転機能で自動化した車を販売しています。しかし、ドライバーに代わって車がすべての運転をしてくれるレベルの自動運転車が実用的な形で公道に登場するにはまだ時間がかかるようです。

4段階に分かれる自動運転レベル！現在はレベル2程度!!

政府が公表している「官民ITS構想・ロードマップ2016」では、自動運転車の定義として、ドライバーの運転への関与度合に応じてレベルを4段階に分けています。

どこに市場化させたいという目標時期を掲げています。自動運転車では、事故の削減も期待されており、今後の開発状況に目が離せません。

まずレベル1は加速や操舵、制動のいずれかの操作をシステムが行ってくれるもの。レベル2は加速、操舵、制動のうち複数の操作を一度にシステムが行えるもの。レベル3は加速、操舵、制動をすべてシステムが行い、システムが求めたときだけドライバーが対応するというもの。そして最終段階のレベル4は加速、操舵、制動をすべてシステムが行い、ドライバーがまったく関与しないものです。

現在はレベル2程度ですが、政府は、レベル3を東京オリンピックが開催される2020年をめどに、レベル4については2025年をめ

安全運転支援システム・自動走行システムの定義

分類	概要	注(責任関係等)	実現するシステム	
情報提供型	ドライバーへの注意喚起等	ドライバー責任	[安全運転支援システム]	
レベル1単独型	加速・操舵・制動のいずれかの操作をシステムが行う状態	ドライバー責任		
自動制御活用型	レベル2システム複合型	加速・操舵・制動のうち複数の操作を一度にシステムが行う状態	ドライバー責任 ※監視義務およびいつでも安全運転できる態勢	[準自動走行システム]
	レベル3システム高度化	加速・操舵・制動をすべてシステムが行い、システムが要請したときのみドライバーが対応する状態	システム責任(自動走行モード中) ※特定の交通環境下での自動走行 ※監視義務なし(システム要請前)	
	レベル4完全自動走行	加速・操舵・制動をすべてシステムが行い、ドライバーが全く関与しない状態	システム責任 ※すべての行程での自動走行	[完全自動走行システム]

(注) 「官民ITS構想・ロードマップ2016」より



「ITS」とは？ 道路交通の安全性、輸送効率、快適性の向上等を目的に、最先端の情報通信技術等を用いて、人と道路と車両とを一体とした新しい道路交通システムの総称です。